

血液透析患者における急性心不全発症と予後に関する研究

1. 研究の対象

- ① 末期腎不全にて血液透析中の方
- ② 2010年4月から2017年3月までの期間に急性心不全にて入院加療を要した方

2. 研究目的・方法

- ・血液透析患者における急性心不全発症の臨床的な特徴および急性心不全発症後の予後（生存期間・再入院など）を明らかにすること。
- ・入院前および入院中の状況を、カルテから調査します。
- ・退院後の状況を、カルテあるいは電話で聞き取り調査します。
- ・研究期間：2019年3月までの予定です

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者情報：年齢、性別、血液検査結果、透析経過、生存・入院に関する情報

4. 外部への資料・情報の提供

個人情報（氏名・生年月日など）は、各施設のセキュリティを有する部署で管理します。外部に提供する、あるいは提供される際は、匿名化された情報のみを取り扱います。個人情報と研究で使用するデータの対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。共同研究施設における対応表は、各施設の担当者が責任者となり保管・管理します。

5. 研究組織

琉球大学医学部附属病院 第3内科
横浜市立大学附属市民総合医療センター
倉敷中央病院

相澤直輝 大屋祐輔
小西正紹
川瀬裕一 島田典明

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

2017年12月13日

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

循環器内科 川瀬 裕一

TEL：086-422-0210

研究責任者・代表者：

琉球大学医学部附属病院 第3内科 職名：教授 氏名：大屋 祐輔